

# 事務事業評価シート

(平成 23 年度実施事業)

事務事業名	農業振興地域整備計画管理事業			事業コード	0594
所属コード	141000	課等名	農政課	係名	農政企画係
課長名	佐々木 和則	担当者名	藤村 環	内線番号	6034
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

## 1 事務事業の基本情報

### (1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	活力ある産業振興	コード	5
	施策	活力ある農林業の振興	コード	1
	基本事業	生産意欲と技術の向上	コード	1
予算費目名	一般会計 6 款 1 項 3 目 農業改良普及事業 (023-01)			
特記事項				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰越 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	昭和 57 年度	
根拠法令等	なし (盛岡市農業振興連絡協議会)			

### (2) 事務事業の概要

農業及び農村生活の改善を図るとともに、農業改良普及事業の円滑な推進を図り、市の農業の発展に寄与する協議会に対し会費を負担するとともに、事務局として各団体との連絡調整を行い、積極的な農業施策を行う。

### (3) この事務事業を開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか)

農業経営基盤強化の促進に関する基本構想の実践、地域農業マスタープランの目標達成、営農技術の普及を基本として、各種計画の具体化に取り組むために、市及び農協等の関係団体により協議会が設立された。

### (4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

地域活性化、地産地消、農地の有効利用、耕作放棄地等が注目されているため、他の事業とともに、協議会もより積極的な活動を行う。

## 2 事務事業の実施状況 (Do) . . . . .

### (1) 対象 (誰が, 何が対象か)

農家と農業関係団体

### (2) 対象指標 (対象の大きさを示す指標)

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 見込み
A 構成団体	団体	8	8	8	8	8
B 総農家数	戸	5040	5040	5040	5040	5040
C						

### (3) 23年度に実施した主な活動・手順

当該協議会の運営費として負担金を支出し, 事務局として事業運営に努めた。

### (4) 活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 目標値
A 専門部会等会議	回	15	10	10	9	10
B 講習会・先進地研修	回	15	11	11	8	8
C 認定農業者関係会議	回	8	10	10	6	6

### (5) 意図 (対象をどのように変えるのか)

農業関係団体との連携を強化し, 農業改良普及事業を推進するとともに, 事務局として事業運営に努める。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績	26年度目標値
A 認定農業者数	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input checked="" type="checkbox"/> 維持	人	305	300	300	274	274
B 生産農業所得	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	千円	580	580	580	580	580
C 農家1戸当たり生産所得	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	千円	1200	1200	1200	1200	1200

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	330	330	330	330
	⑤その他( )	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	330	330	330	330
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	160	160	160	160
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	640	640	640	640
計	トータルコスト A+B	千円	970	970	970	970
備考						

3 事務事業の評価 (See) . . . . .

(1) 必要性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

① 施策体系との整合性

結びついている。

理由：農業の発展に寄与することを目的としている。

② 市の関与の妥当性

妥当である。

理由：協議会に参画して、農業関係団体等と共同で農業施策を推進する効果は大きい。

③ 対象の妥当性

現状で妥当である。

理由：対象が協議会活動に限定されている。

④ 廃止・休止の影響

影響がある。

理由：協議会が成立しないおそれがあり、関係機関・団体による施策が実施できなくなり、農業の振興が図られなくなる。

(2) 有効性評価（成果の向上余地）

事業内容を精査し、費用対効果を上げる。

(3) 公平性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

公平・公正である。

理由：事業の性質上、対象が限定されてることから適正である。

(4) 効率性評価

必要最小限の人員費及び事務費であるため削減は、事業減少に直結し、成果も低下する。

**4 事務事業の改革案 (Plan) . . . . .**

(1) 改革改善の方向性

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

## 5 課長意見 . . . . .

### (1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

### (2) 全体総括・今後の改革改善の内容

活動がマンネリ化している部会と活発に活動している部会とがあることから，事業効果を検証しながら，より効果的な事業を実施する。